

議題（2） 指定管理者評価結果について

〔指定管理者評価部会からの評価結果説明〕

- いずれの施設も適正に管理・運営され、指定管理という特性を活かして、自主企画が積極的に実施されるとともに、これまでの評価意見が改善に反映され、非常に良い。
- 目標指標については、環境変化を考え、中間での見直しを検討してはどうか。
- アンケート等による利用者満足度の測定は、手法やサンプリング数がさまざま、物足りない施設もあり、まだまだ努力が必要。
- 経費削減については、光熱水費の削減や契約の見直しなど頑張っているが、あまり追求しすぎるとサービスに影響するので、サービス低下しないよう注意してほしい。
- 赤字運営が連続するとサービス低下につながるため、このような施設は県もモニタリングをしっかりと行ってほしい。指定管理者にまかせっきりにならないように気をつけてほしい。
- 目標未達成について、外部環境を理由にするところがあったが、外部環境の影響を受けるのはどこも同じ。その中で成果をあげているところもあるので、受け身ではなく、積極的な対策を期待する。
- 利用して良かったと思える施設運営をお願いしたい。

- 今回は5段階評価についての対応のみが示されているが、所見評価についても意見をどう生かすのか、次回以降コメントを付していただきたい。
- マリンカルチャーセンターは、利用者が増加傾向にあるようだが、蒲江・北浦間の高速道路供用開始で相当な数の人が往来し、今は町自体に集客力がある。道の駅だけで帰ってしまうことのないよう、県と指定管理者、地元で協力して、集客に努めてほしい。
- MICE誘致について、現状、大分県は具体的な目標を持っているのか。また、おもてなしの感覚のレベルを上げる必要があり、ビーコンプラザだけでなく、経済界等地元とも一体となって誘致していく必要がある。
- MICE誘致の助成制度の条件緩和やポイントを絞った営業活動を検討してはどうか。
- iichiko 総合文化センターと県立美術館の一体管理だが、運営についての協議は進んでいるのか。例えば、美術館の閉館時間をイベントの時間にリンクする計画を立てるといったことなど。また、大分市以外の方は、公共交通機関の時間の問題があり、終演時間が問題となったりする。ハード面だけでなく、地域等との連携を含めたソフト面の一体化の検討はどうなっているのか。
- 大分市以外の市町村では、大分市にある県の施設は距離的に遠く、交通の便を考えると、特に、子育て世代では行きにくいという意見がある。固定した場所での開催イベントは交通の問題で断念することもある。遠方の県民も利用しやすいよう、交通費負担等市町村とも協力した企画も考えてほしい。